

政府が隠す医療崩壊の真相

本田宏氏(NPO法人医療制度研究会副理事長)が講演

協会は毎年恒例のサマーセミナーを8月21日、M&Dホールで開く。午前の部は財政問題に詳しい鶴田廣巳氏(関西大学商学部教授)が日本の財政再建と社会保障財源について講演する。午後の部は市民講座として、産科医や地方の医師不足の背景と政府の対策の問題点について、医師の本田宏氏(NPO法人医療制度研究会副理事長)が講演する。

サマーセミナー2016

なぜ救急患者の「受け入れ不能」は止まらないのか。日本の医師は11万人不足。高齢者激増時代にもかかわらず、医療費を圧縮する政府……。



鶴田廣巳氏



本田 宏氏

知られたくない日本の医療の真実を踏まえ、医療再生の展望を呼びかけよう。

消費税に頼らない道を考える

午前の部では、社会保障財源に消費税は必要か、講師 鶴田廣巳氏(関西大学教授)

サマーセミナー2016

日時 8月21日(日) 10時30分~15時
会場 M&Dホール 会費 無料
定員 100人

▽午前の部(10時30分~12時15分)
「社会保障財源に消費税は必要か」
講師 鶴田廣巳氏(関西大学教授)

▽午後の部(13時~15時)
市民講座「本当の医療崩壊はこれからやってくる」
講師 本田宏氏(外科医)

※午前・午後通しで参加される方は昼食(弁当)有り
※参加申し込みは事務局まで
Tel.06-6568-7731

特別金利キャンペーン 2017年3月末まで

通常金利から年0.4%優遇、手数料無料

融資対象	次の条件をいずれも満たしている方 ①大阪府歯科保険医協会の会員で大阪府内にて開業されている方(新規開業も含む) ②社会保険診療報酬支払基金・国民健康保険団体連合会からの診療報酬の振込銀行として京都銀行を指定できる方			
資金種類	新規開業資金	子弟教育資金	設備資金	運転資金
融資限度額	3000万円以内	2000万円以内	1億3000万円以内	1000万円以内
融資期間	10年以内	7年以内	20年以内	3年以内
返済方法	元金均等	元金均等	元金均等	元金均等
融資利率(変動金利)	通常金利 年1.475% ⇒年1.075%		通常金利 年1.275% ⇒年0.875%	
手数料	キャンペーン中は無料!(通常手数料:融資金額×0.1%)			

※お問い合わせは共済部(Tel.06-6568-7438)までお願いします

歯界

イギリス人は感情に流されず常に冷静に実利で動く国民だと思っていたが、EU離脱という想像外の展開となった。高齢者層が変化に対応できず、感情的に移民や難民への拒否反応を抑えられない事が票に反映したのか。高齢者の能力劣化は体力から始まり、次いで知力が衰え、感情は長く健全さを維持するはずだが、目や手先が弱りながら、涙もろくなると患者への同情心が増し診療を続ける医師の例は古くから知られている。ドイツ人だったか、有名な外科医で手術中に突然自分の脳血管障害で、患者を死なせてしまった例を読んだことがある。個人的な政治判断のミスは、大集団に集積されるとオペの失敗よりも深刻な歴史的惨事に繋がりがかねない。人は痛む目に遭って学習する。私は酒の飲みすぎでの排尿困難の苦痛の経験から学習したが、過去の世界戦争ははるかに大きな教材である。今はイギリス人の特技である復元修正能力の高さに期待するしかない。

障費の抑制と消費税増税をセットで進める政府の方針を検証する。大企業と富裕層の税逃れを放置する一方で、社会保障財源を理由に庶民への負担増を喧伝する政府。財政再建、消費税増税、法人税、資産プライト、タックスヘイブンなど、財政と暮らしの行方を考える。

新聞・テレビが報道

子どもの口腔崩壊問題に注目

1976年京都大学博士課程経済学研究科単位取得満期退学、関西大学商学部教授、大阪自治体問題研究所前理事長、日本租税理論学会理事長。本書に『現代租税の理論と思想』『所得税の理論と思想』『所得税の理論と思想』など多数。

子どもの貧困が社会問題化するなか、口腔崩壊や未受診の子どもの実態を明らかにした協会の学校歯科治療調査に注目が集まっている。6月16日のNHKテレビ「おはよう関西」の報道に続き、『朝日新聞』『読売新聞』が同日付で、『しんぶん赤旗』が7月1日付でそれぞれ調査結果を紹介した。また、『共同通信』が記事を配信し、全国の地方紙やネットニュースで取り上げられ、話題を呼んでいる。

関西のニュース枠で報じたNHKは、「子どもの6割以上、虫歯などを放置」として、2分近く

にわたって調査結果を取り上げた。「調査では貧困のため歯科医にかかる費用がない例も報告され

た」との協会のコメントを示し、自治体に医療費助成の拡充などを求めることも紹介した。

『朝日新聞』は地方版のトップ記事として報道。「歯科「要治療」の6割未受診か」との見出しで取り上げた。調査結

果と共に、▽背景に貧困や家庭の問題がある▽口腔崩壊の児童・生徒が府内に推計で2000人以上——などの協会の分析を掲載した。

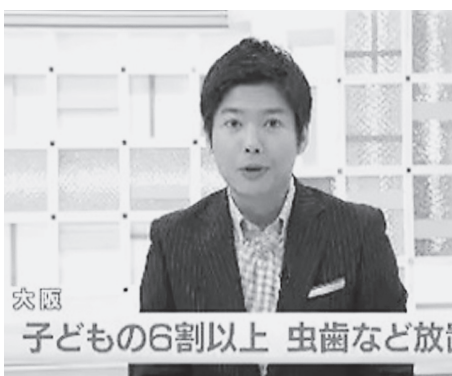
『読売新聞』は「口腔崩壊」児童府内89小学校に「この見出しで掲載。『共同通信』は「歯が悪い児童の半数、受診せず 貧困背景」との記事を配信した。『しんぶん赤旗』は子どもの貧困

問題の象徴的な事例として調査結果を紹介した。学校歯科治療調査は昨年2月に府内の全公立小・中・高校を対象に実施したもので、経済的な事情を背景にした口腔崩壊の児童・生徒の存在が明らかになった。また、歯科健診で「要受診」となったにもかかわらず、受診できなかったにもかかわらず、受診できていない状況が広がっていることも判明した。



大阪府歯科保険医協会 敬愛会
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

7/15
2016年第1240号
(毎月5、15、25日発行)



子どもの6割以上 虫歯など放置

歯科「要治療」の6割 未受診か

公立小中高13万人

学校歯科治療調査を報じるNHK、新聞各紙

マスコミ各社と懇談

協会では、学校歯科治療調査をはじめ、受診実態調査や保団連近畿プロセスの歯科技工所アンケート

トなどで明らかになった患者や歯科技工所の深刻な状況を広く知らせるため、6月8日付でプレス

必要性を強調した。校生の受診率が低いのは3割負担が影響しているのか、「歯科技工物の需要は減っているのか」などの質問が出され、医療費助成制度の拡充や低歯科診療報酬の改善などの

今日の数字 1030
子ども医療費助成で窓口負担が無料の自治体数。全体の6割。大阪は全市町村で負担有り。